

みんなでかんがえ、みんなで作る

被災した公民館を再建する「みんなの家」

西原村 大切畑のみんなの家

消防車庫と合築することに特徴のある計画。消防車庫と広間の間に軒下をトンネル状に作り、どちらからも使える場にした。風景を印象的に切り取ると同時に、消防隊の休憩場所になったりと、多彩な使い方ができる計画。

延べ面積：132.46㎡(消防詰所を含む)
 設計者：千葉学/千葉学建築計画事務所
 施工者：有限会社ウエダホーム
 完成時期：2021年3月



熊本地震で被災した公民館の再建を「日本財団わがまち基金」を活用し、地区住民、設計者、施工者、市町村、様々な協力者とともに、みんなでかんがえ、みんなで作る「みんなの家」プロジェクトとして行った。今回完成した4棟を含め、10地区全ての整備が完了。

公民館型みんなの家の概要
 設計者：千葉学/千葉学建築計画事務所
 塚本由晴+貝島桃代+玉井洋一/アトリエ・ワン
 事業主体：一般財団法人熊本県建築住宅センター
 協働事業者・資金助成：日本財団
 事業協力：一般社団法人KKN熊本工務店ネットワーク
 協力者：藤森泰司アトリエ、カリモク家具、八代東ロータリークラブ、田島ルーフィング、大光電気、安東陽子デザイン、アイカ工業、DURAVIT、GROHE、KASEIプロジェクト

大津町 上揚のみんなの家

阿蘇外輪山の山裾と白川に挟まれ、中央を県道145号が走る線状集落にある。道路より一段低い敷地であったため、歩行者や電動カート利用者に配慮し、道路と軒下空間をブリッジでつないだ。障子があり落ち着いた雰囲気のある広間からは背後に広がる田園地帯が見える。みんなの家と既存倉庫との間には、熊本城の破損瓦を再利用した通路を整備した。

延べ面積：36.43㎡
 設計者：塚本由晴+貝島桃代+玉井洋一
 /アトリエ・ワン
 施工者：株式会社小川工務店
 完成時期：2021年3月



西原村 風当のみんなの家

俵山の西にある大峯の山裾の斜面集落で、高台から平野が見渡せる眺望の良い公園に面している。また、集落は県道28号沿いにあり交通の便が良いことから子育て世代の家族が多い。みんなの家には彼らの要望であった広間と一体的に使えるキッチンや公園利用者が使える屋外トイレを整備した。

延べ面積：59.60㎡(増床分を含む)
 設計者：塚本由晴+貝島桃代+玉井洋一
 /アトリエ・ワン
 施工者：宮田建設株式会社
 完成時期：2021年3月



西原村 下小森のみんなの家

消防詰所との合築が求められた。道路側にポンプ車庫と消防詰所、公園側にみんなの家を配置し、両方から使える軒下空間を挟んで南側の広場に対して「への字」になるように連結した。公園は保育園の散歩道にもなることから、道路から公園まで軒下を歩けるようにするとともに、軒下空間には屋外トイレや手洗い場を設けた。

延べ面積：149.10㎡(消防詰所を含む)
 設計者：塚本由晴+貝島桃代+玉井洋一
 /アトリエ・ワン
 施工者：宮田建設株式会社
 完成時期：2021年4月

